



那須 英二 議員

日本共産党弥富市議団

問 物価高騰から市民を守る対策を

答 補助制度を最大限に活用

問 物価対策の対策メニューはどのように検討したか。

答 (企画政策課長) 国より推奨事業メニューなどが提示され、その範囲内で事業を検討した。

問 国の対策費は。

答 低所得世帯支援枠に5千億円、推奨事業メニューに7千億円、計1兆2千億円。

問 給食費を無償化しては。

答 (教育部長) 自校方式を維持し、安心安全で美味しい学校給食を維持するために、食材費については引き続き保護者にお願しい。

問 水道料の基本料金無料化は、4か月だけではなく年度末まで行っているか。

答 (市民生活部長) 交付金の配分があり、それに合わせて色々な事業も考え4か月とした。

問 高騰する電気代に対して補助を行うのはどうか。

答 (企画政策課長) その時々状況を踏まえ、適切に判断していく。

問 物価対策の拡充について市長の考えを。

答 (市長) 今、必要な支援について検討し、補助制度を最大限に活用するよう取り組み、長期的に持続可能な市政運営をしていく。



問 3歳未満児の保育料を引き下げていくべきでは。

答 (健康福祉部長) 県内自治体の平均より低く抑えているので、今のところ引き下げは考えていない。

問 育休退所を解消することとは検討しているか。

答 保育士確保ができず対応が難しい。

問 どこに課題があるのか。

答 保育士の増員が絶対条件。

問 保育士の確保はできているか。

答 正規は大学訪問等を行い徐々に効果が現れているが、非正規は現時点で応募や紹介がほとんどない状況。

問 保育士の推移は。

答 令和元年度は正規107人、非正規147人。令和5年度は正規98人、非正規136人。

問 保育所の定員と実際の定員は。

答 認可定員は1440人。利用定員は1200人。

問 現在の利用人数は。

答 929人。

問 子育て環境に対する市長の思いは。

答 (市長) 民営化などにより、保育士の数を確保し、土曜午後保育や育休退所の解消に向け、退所基準を見直していきたい。



【その他の質問】
「補聴器購入の補助を」